

## 第5章 プロジェクトの評価と提言

## 第5章 プロジェクトの評価と提言

### 5-1 妥当性にかかる実証・検証及び裨益効果

#### (1) 裨益効果

本計画が実施され「ド」共和国側により施設の適切な管理運営がなされた場合、以下のような現状の改善と裨益効果が得られる。

#### ① 「ド」共和国の保健医療水準の向上

プライマリケアや病気の予防のための公衆衛生、及び病気の治療効果を高めるための画像診断に係る知識、及び技術を更新された専門医が年間約二百余名養成される。「ド」共和国のレジデント医師教育における公衆衛生に係る教育は実施されていない状況で、一部実施している教育病院においても割り当て時間は少ない。画像診断に係る機材の配置も限られており、教育の機会が少ない状況にある。厚生省は、レジデント医師教育に関して、1998年を目途に各専門科別に共通カリキュラムを作成する計画であるが、共通カリキュラムによって全レジデント医師を対象に、本センターでの公衆衛生、及び画像診断教育が実施されると年間約二百余名の公衆衛生、及び画像診断に新しい視点を持ったレジデント医師が養成されることとなる。厚生省が引き続き適切な人材管理を行い、画像診断に関しては適切な機材配置を実現しながら、これらの人材を有効に活用することにより、「ド」共和国の保健医療水準を引き上げることが可能となる。

#### ② 公衆衛生活動の実施促進

公衆衛生の教育の目的は個人の治療とは別に、地域社会の背後に存在する保健衛生等の問題を見極めることにより、予防医学的、社会医学的視野から問題解決をはかることを目的としているが、本センターにおいて厚生省でプライマリケアや公衆衛生の現場に携わる人材に対して実状に即した教育を継続的に行うことにより、全ての国民に公平で均一な保健サービスを提供するという「ド」共和国の方針を側面的に支援することができる。本分野での人材の啓発は、「ド」共和国の上位計画であげられている公衆衛生に係る以下のような活動を、より効果的に実施することが可能となり、また各種資源を節約し国家全体の生産性を高める効果が期待できる。

- 県や郡レベルでの母子死亡減少のための活動
- 全ての小児、妊産婦への公平な医療サービスの提供
- 乳児や妊産婦の栄養失調の発見と栄養状況の向上
- 乳児の養育に関する女性や母親の知識レベルの向上
- 疫学的監視体制、疫学統計の改善
- 都市や農村の最貧困地域の環境衛生の改善
- 地域社会の啓蒙と地域社会教育を実施するシステムの作成

### ③ 低所得者層の保健医療の改善

本センターの位置するアイバール複合病院は、「ド」共和国の「全ての国民に公平で均一な医療を」の方針のもと、主として都市部の低所得者層や地方の農民の医療を担っているが、本センターの画像診断機材が教育の一環としてアイバール複合病院の患者の診断検査に供される。これらの検査結果が臨床の現場で活用されて、より正確な診察が行われる。検査結果を正しく理解することが、患者の病態の把握、病気の重症度の判定、治療の効果、予後の推測に役立ち、高価な民間医療施設を利用できない低所得者層の人々が最新装置の恩恵を受けることとなる。

### ④ 放射線医師不足解消

本センターで行う放射線科のレジデント医師の教育により毎年3名の放射線科の専門医が誕生する。厚生省の病院の放射線科医師は現在約40名であるが、放射線科医師の適正必要量を110名<sup>※1</sup>と想定すると、これに到達するには今後10～20年を要する。

放射線診断の業務は放射線科医によって行なわれるべきものであるが、「ド」共和国の放射線科医の数はあまりにも少ないので、現状では各分野の医師がそれぞれの関係のフィルムの読影及び透視、その他の仕事をする事にならざるを得ない。このため本計画では各科のレジデント医師に対して画像診断分野の基礎教育を実施し、これと並行しながら質の高い放射線科医の育成をしようという計画である。

※1 
$$\left( \frac{\text{「ド」共和国の厚生省施設における年間診療件数：} 6,959,549 \text{件 (出所：厚生白書1995年)} \times 13.2\% \text{が画像診断を必要とすると仮定}^{*2}}{\text{医師1名が検査できる件数：} 30 \text{件/日} \times 23 \text{日/月} \times 12 \text{ヶ月}} \right) = 110$$

※2 
$$\left( \frac{\text{アイバール病院の年間X線検査数 } 25,323}{\text{アイバール病院の年間外来診察件数 } 191,808} \right) = 13.2\%$$

## ⑤ 放射線技師技術向上

既存の放射線技師に対して、医師の要求する部位を鮮明に写して適確な診断的情報を提供する技術や、患者保護の観点に立ち照射記録を作成し保存するという技師としての基本的な業務を教育して実践させることにより、「ド」共和国の放射線診断技術の水準が高められる効果が期待できる。

以上のように、本計画は「ド」共和国の保健医療の向上を目的として、医師を中心とする医療人材に対して、公衆衛生分野と画像診断分野の教育を継続的に実施する努力を積み重ねて行うこととしている計画である。

### (2) 妥当性に係る検証

以下の事項に対する検証により、本計画が実施される妥当性は高いと判断される。

#### ① 上位計画の中における本計画の位置付け

「ド」共和国の「国家保健計画」においては、社会格差を背景にした保健環境の不平等が主要問題としてあげられている。これらの解決には、母子保健の改善や低所得者層に焦点をあてたプライマリケアの向上等が緊急課題であるとしているが、これらの解決手段としては公衆衛生の概念の活用が最も有効である。また、厚生省がまとめた「国家人材養成計画」では、母子死亡率が高いことや保健分野の投資が低所得者層に裨益していないこと等の問題点をあげた上で、これらの解決のため質の高い効率的な医療を提供するために十分な能力を持つ人材の育成が重要であるとしている。

本センターにおいて計画されているレジデント医師への公衆衛生教育と画像診断教育及び厚生省で公衆衛生分野を担当している職員及び放射線技師への卒後教育の目的は、前述の上位計画に基づいた教育を行って、もって「ド」共和国の保健医療の改善を推進されることを目標として、計画されているものである。

#### ② 施設運営の実現性

本センターは、医師職11名、放射線技師5名、検査技師3名、看護婦2名の専門職及び46名の一般職、合計職員76名の職員により運営され、年間約二百余名のレジデント医師を対象にし

て公衆衛生及び画像診断の教育を実施し、年間3名の放射線レジデント医師を本センターで雇用しながら教育する。さらに主として週末を利用してパラメディカルらを対象に卒後教育も使う計画である。必要な職員数は、アイパール複合病院からの補充及び厚生省により雇用される予定で問題はない。

一方、教育対象となるレジデント医師の確保に関しては、従来のレジデント医師の公募状況によると、応募者数が定員枠を上廻っているため定員は確保できると考えられる。レジデント医師教育を修了して専門医の資格を取得した者は各々の保健医療機関に就職するものと考えられる。厚生省の資料では厚生省の病院で教育を受けたレジデント医師の95～96%は厚生省の医療施設に勤務している。

本センターは厚生省の明確な方針に基づいて計画されていることから、アイパール複合病院内の消化器疾患センターや熱傷センターと同程度の運営費が配分されるものと予測できる。本センターで使用する画像診断機材のための消耗品類の更新に必要な費用は、本センターを利用する患者層のうちの支払可能な患者からの検査料収入を積み立てて充当する。

以上により、本センターの運営については職員の配置、教育対象の確保、及び運営予算の配分など実現性は高いと判断される。

### ③ 公衆衛生に係る卒後教育の実現性

厚生省に属して直接公衆衛生活動に当たっている職員を対象にして、彼らの直面している問題の改善に有効なテーマを取り上げてセミナーを開催することは、上位計画の方針の実行にも効果が有り、従来各保健地域で行っていた研修を統一的、効率的に実施する意義は高く、またこれを行う適当な実習施設もないためこれらを実本センターで実施する必要性は高い。

本業務及び本教育対象者を統括する厚生省の担当部門が本センターの運営委員会に加わり、テーマ、講師、教材及び対象者の選定等、本教育の実施の具体化に際して本センターの担当職員を支援し、必要な調整を行って本教育を推進することとなっているので実現性は特に問題ない。

以上により、本計画はその裨益効果、及び上位計画との位置づけ、運営体制等から計画を実施する妥当性は高いと判断される。

## 5-2 技術協力・他ドナーとの連携

本案件は我が国が実施を予定しているプロジェクト方式技術協力との連携案件であり、無償資金協力による本センターを使用して「レジデント医師等訓練・養成プロジェクト」が実施される予定である。プロジェクト方式技術協力の概要は以下のようになっている。

### (1) プロジェクト方式技術協力の概要

1997年8月に実施されたプロジェクト方式技術協力の事前調査に基づいて、国際協力事業団医療協力部は、①アイバル複合病院のレジデント医師及び放射線技師を教育する指導者の養成、②アイバル複合病院のレジデント医師及び放射線技師教育のためのカリキュラム改正の2点について技術協力の実施を検討している。概要は以下のとおりである。

#### 1) 公衆衛生

表5-1 公衆衛生分野の技術協力検討案

	目標	対象者	教育手法	教育者
レジデント教育	アイバル複合病院のレジデント医師に一般的な疾病の疫学の概要を習得させる。	アイバル複合病院のレジデント医師	講義中心	新センターの疫学部所属教員
指導者教育	レジデント医師を教育できる公衆衛生の専門家を養成する。	新センターの疫学部所属教員	フィールドワーク中心	日本人専門家

#### 2) 画像診断分野

表5-2 画像診断分野の技術協力検討案

	目標	対象者	教育手法	教育者
一般レジデント教育	アイバル複合病院の放射線科以外のレジデント医師に各科に必要な画像診断の基礎を習得させる。	アイバル複合病院のレジデント医師(放射線科を除く)	講義・実習	新センターの放射線部の所属教員
専門レジデント教育	放射線科のレジデント医師に画像診断の専門家として必要な技能を習得させる。	アイバル複合病院の放射線科レジデント医師	講義・実習	新センターの放射線部の所属教員
放射線技師教育	アイバル複合病院の放射線技師に各機器の運用に必要な技能を習得させる。	新センターの放射線技師	実習	新センターの放射線部の所属教員
指導者教育	レジデント医師・放射線技師を教育できる画像診断の専門家を養成する。	新センターの放射線部教員	講義・実習	日本人専門家

## (2) 他ドナー

我が国以外にフランス政府、スペイン政府等が「ド」共和国厚生省に同国の保健レベル向上に係る支援を行っているが、その主な計画は次のようになっている。

援助機関名	援助内容	期間	備考
仏国	厚生省の23病院に対するX線機材設置による診断レベル向上計画	1997年より10ヶ年	融資総額約31百万仏フラン
西国	厚生省病院網12ヶ所への機材設置による改善計画		融資総額1,250万US\$
JICA	消化器疾患センター建設計画(1/2期、2/2期)	1989年及び1990年	9.28億円+4.85億円 計14.13億円の無償援助
JICA	プロジェクト方式技術協力 消化器疾患研究・臨床	1990年1月1日 ～1994年12月31日	累計派遣専門家数68人 受入研修生数19人 供与機材総額202,095千円

## 5-3 課題

本計画が実施され、計画されている内容の教育が実行された場合、画像診断や公衆衛生の分野に係るレジデント医師教育や関連するパラメディカル等への卒後教育の内容が充実し、強化されることが期待される。このように本計画は、「ド」共和国の保健医療に係る人材の育成面で多大な効果が期待できると同時に、その結果として「ド」共和国の人々を疾病や貧困から解放して広く同国の社会経済の健全な発展に寄与するものであることから、本計画を日本国政府の無償資金協力で実施することは妥当であると判断される。本計画が速やかに実施され、供与される施設や機材が円滑かつ効果的に運用され、初期の目的が達成できるよう以下の事項につき提言する。

### (1) 計画実施予算の確保

本計画の実施が両国政府で正式となった場合、「ド」共和国政府は本計画の実施に必要な予算を確保することが重要である。特に、「ド」共和国側が負担する事項の内、建設用資機材の通関及び間接税(ITIBIS)や水槽の新設と撤去及び電力引込み工事費等の予算化は日本国側の工事を円滑に実施する上で重要である。

## (2) 契約・承認手続きの迅速な対応

本計画は日本国の無償資金協力の枠組みに従って実施されるため、交換公文に記載された期限内、あるいは日本国政府の会計年度内に工事を完了せねばならないなどの時間的制約がある。このため、「ド」共和国側は交換公文の締結、コンサルタント契約、本基本設計調査報告書に基づいた詳細設計図書の承認、必要申請手続きと許可の取得、工事契約、輸入機材の関税免除手続き及び間接税(ITIBIS)免除手続き等の業務を迅速に行う必要がある。

## (3) 教育の制度化等

「ド」共和国のレジデント教育において、本センターで実施予定の教育を制度化して全レジデントに必修とすることが、教育効果を確実にする意味で重要である。また、レジデント教育修了時の専門医認定試験制度の導入や、専門医の一定期間の地方勤務の義務化は、「ド」共和国の医療水準を高めるとともに、「全国民に均等な医療機会を」という同国の方針の実現に効果的であると思われるのでこのような制度の早期実現が望まれる。



資料

## 1. 現地調査団員リスト

### (1) 基本設計調査(平成9年11月29日～12月27日)

総括	花岡 慎	外務省 経済協力局 無償資金協力課
技術参与	森 宣	大分医科大学
技術参与	脇坂 昌記	大分医科大学
計画管理	堀川 真弓	国際協力事業団 無償資金協力調査部 調査第1課
業務主任/ 運営・維持管理計画	林屋 昌太郎	㈱山下設計
建築計画	島田 義一	㈱山下設計
機材計画	赤木 重仁	㈱山下設計
設備計画	増澤 正義	㈱山下設計
調達・積算計画	渡邊 荘太郎	㈱パシフィックコンサルタンツ インターナショナル
通訳	島崎 マリ	㈱山下設計

### (2) 基本設計概要説明調査(平成10年3月8日～3月19日)

総括	米崎 紀夫	国際協力事業団 無償資金協力部
無償資金協力	荻野 正裕	外務省 経済協力局 無償資金協力課
技術参与	脇坂 昌記	大分医科大学
業務主任/ 運営・維持管理計画	林屋 昌太郎	㈱山下設計
建築計画	島田 義一	㈱山下設計
機材計画	赤木 重仁	㈱山下設計
通訳	島崎 マリ	㈱山下設計

## 2. 調査日程

### (1) 基本設計調査(平成9年11月29日～12月27日)

日順	月日(曜日)	内容
1	11月29日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京発 サントドミンゴ着 (花岡、脇坂、堀川、林屋、島田、赤木、増沢、渡辺)</li> </ul>
2	11月30日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>団内打合せ</li> </ul>
3	12月1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>JICAドミニカ共和国事務所表敬訪問</li> <li>日本大使館表敬訪問</li> <li>厚生省等関係省庁表敬訪問及び協議</li> </ul>
4	12月2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイパール複合病院(「ア」病院)にて協議</li> </ul>
5	12月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議、既存施設調査</li> <li>インフラ調査</li> </ul>
6	12月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議</li> <li>建設、調達事情調査</li> </ul>
7	12月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議(森、サントドミンゴ着)</li> <li>類似施設調査</li> </ul>
8	12月6日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>団内打合せ</li> <li>資料整理</li> </ul>
9	12月7日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>団内打合せ</li> </ul>
10	12月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニッツ協議</li> <li>市役所、公共事業省にて法規調査</li> </ul>
11	12月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニッツ協議</li> <li>自然条件調査依頼</li> </ul>
12	12月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニッツ署名</li> <li>日本大使館へ報告</li> <li>JICAドミニカ共和国事務所へ報告</li> </ul>
13	12月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議</li> <li>市場調査</li> <li>サントドミンゴ発(官団員)</li> </ul>
14	12月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議</li> <li>消防署、公共事業省にて法規調査</li> <li>建設・調達事情調査</li> </ul>
15	12月13日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>団内打合せ</li> <li>東京着(官団員)</li> </ul>
16	12月14日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料整理</li> </ul>
17	12月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて追加質疑及び調査</li> <li>建設・調査事情調査</li> </ul>

日順	月日(曜日)	内容
18	12月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議及び調査</li> <li>統計資料収集</li> <li>サントドミンゴ発(渡辺)</li> </ul>
19	12月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議及び調査</li> <li>法規調査</li> <li>建設、調達事情調査</li> </ul>
20	12月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議及び調査</li> <li>上下水道局にて資料収集</li> <li>東京着(渡辺)</li> </ul>
21	12月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議及び調査</li> <li>厚生省にて資料収集</li> </ul>
22	12月20日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料整理</li> <li>「ア」病院既存建物調査</li> </ul>
23	12月21日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>団内打合せ</li> </ul>
24	12月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア」病院にて協議</li> <li>機材調達事情調査</li> <li>建設事情調査及び価格調査書回収</li> </ul>
25	12月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設事情調査及び価格調査書回収</li> <li>機材調達事情調査</li> </ul>
26	12月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本大使館へ報告</li> <li>JICA ドミニカ共和国事務所へ報告</li> <li>自然条件調査成果品受取り</li> </ul>
27	12月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>サントドミンゴ発 ロスアンジェルス着(コンサルタント団員)</li> </ul>
28	12月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロスアンジェルス発</li> </ul>
29	12月27日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京着</li> </ul>

(2) 基本設計概要説明調査(平成10年3月8日～3月19日)

日順	月日(曜日)	内容
1	3月8日(土)	• 東京発 ニューヨーク着 (米崎、脇坂、林屋、島田、赤木)
2	3月9日(日)	• ニューヨーク発 サントドミンゴ着
3	3月10日(月)	• JICA ドミニカ共和国事務所表敬訪問 • 日本大使館表敬訪問 • 厚生省等関係省庁表敬訪問及び協議
4	3月11日(火)	• 「ア」病院にて協議、既存施設調査
5	3月12日(水)	• 「ア」病院にて協議、既存施設調査 (荻野、サントドミンゴ着)
6	3月13日(木)	• 「ア」病院にてミニッツ案協議 • 公共事業省にて法規調査
7	3月14日(金)	• 資料整理
8	3月15日(土)	• 団内打合せ
9	3月16日(日)	• ミニッツ調印 • JICA ドミニカ共和国事務所へ報告 • 日本大使館へ報告 (荻野、別調査へ)
10	3月17日(月)	• サントドミンゴ発 ニューヨーク着 (米崎、脇坂、林屋、島田、赤木)
11	3月18日(火)	• ニューヨーク発
12	3月19日(水)	• 東京着

### 3. 関係者リスト

#### 厚生省 (SESPAS)

Dra. Altagracia Guzman Marcelino	Secretaría de Estado
Dr. Rafael Camacho Bencosme	Sub-Secretario de Recursos Humanos
Dra. Mercedes Rodriguez	Sub-Secretaria de Estado
Dra. Tirsis Quezada	Directora Planificacion y Sistemas
Dr. Sergio Sarita	Sub-Secretario, Planificacion
Dr. Roberto Peguero	Sub-Secretario, Director General de Hospitales
Dr. Rafael De La Mota	Sub-Director, Director General de Hospitales
Dr. Guillermo Serra Ramirez	Sub-Secretario
Sr. Reynaldo Peguero	Coordinador Técnico del Despacho de Salud
Lic. Mary Reyes	Directora Departamento de Proyectos
Sra. Ana Mariñez Alvaraz	Asistente Técnico, Direccion General Recursos Humanos
Arq. Rafael R. Medrano S.	Director Nacional de Ingeniería y Arquitectura
Arq. Carlos Olivares	
Ing. Luis Pelletier	
Ing. Roblo Familia	
Ing. Miguel Abreu	

#### 大統領府技術庁企画局 (SECRETARIADO TECNICO DE LA PRESIDENCIA)

Lic. Rosa Ng de Eberle	Directora Cooperacion Internacional
Lic. Anibal Taveras	Asistente Director Nacional
Lic. Llamil Herrera	Enc. Proyectos Bilaterales, Oficina Nacional de Planificacion

#### 大統領府工事監理技術室 (PRESIDENCIA DE LA REBUBLICA)

Ing. Luis A. Morilla R.	Director de Obras Sector Salud Oficina de Ingenieros Supervisores de Obras del Estado Adscrita al Poder Ejecutivo
Ing. Maira Fernandez	Supervisora Oficina de Ingenieros Supervisores de Obras del Estado Adscrita al Poder Ejecutivo

#### ルイス・E・アイパール複合病院 (HOSPITAL DE DR. LUIS E. AYBAR)

Dr. Jose A. Bonnet	Director
Dr. Herminio A. Grullon P.	Sub-Director, Centro de Gastro
Dr. Jose Luis Fleck	Jefe Servicio Radiologia, Centro de Gastro
Dra. Mercedes Castro Bello	Jefe de Epidemiologa, Centro de Gastro
Lic. Celeste Cruz Mejia	Encargada Interina, Laboratorio, Centro de Gastro

サント・ドミンゴ自治大学 (UASD)

Dr. Mauro Canario                      Coordinador de Docencia y Post-grado, Medicina  
Dr. Rafael Montero                      Dept. de Salud Pública

公共事業省 (SEOPC)

Ing. C. Mireya Veloz                      Directora General de Reglamentos y Sistemas  
Arq. Juan E. Peña Mendez                Director Gral. De Edificaciones  
Ing. Jacqueline Medrano                Coordinadora, Departamento de Normas Reglamentos y Sistemas  
Arq. Dulce A. de Henriquez              Sub-Encargada de Oficina Central de Tramitacion de Planos  
Ing. Carlos S. Bonnelly                  Encargado, Departamento de Obras Hidraulicas  
Ing. Marcos Vargas                      Supervisor, Departamento de Obras Hidraulicas

市役所 (AYUNTAMIENTO DEL DISTRITO NACIONAL)

Lic. Waldy Rafael Taveras Daniels      Secretario del Concejo de Regidores  
Arq. Altigracia (Gena) Peña              Asistente Director, Planeamiento Urbano

サント・ドミンゴ市上下水道局 (CAASD)

Ing. Jose Aybar                          Enc. Unidad Ingenieria, Oficinas Programas Especiales  
Ing. Gabriel Jannie                      Gerente de Facturacion

サント・ドミンゴ市消防署 (CUERPO DE BOMBEROS DE SANTO DOMINGO)

Coronel Mario Contrera C.              Sub-Jefe  
Inc. Juan P. Martinez

プラサ・デ・ラ・サルード病院 (PLAZA DE LA SALUD)

Dr. Bienvenido A. Delgado Billini      Director General, Hospital General Materno Infantil  
Ing. Heriberto De Castro                Presidente, Patronato del Hospital General Materno Infantil  
Dr. Virgilio A. Alberto Mota              Director Medico  
Lic. Luisa De Taveras                    Contralor  
Lic. Ezio Valentino                      Secretario General del Patronato

サントドミンゴ自治大学医学部

(UNIVERSIDAD AUTONOMA DE SANTO DOMINGO, FACULTAD DE CIENCIAS DE LA SALUD)

Dr.	Hector Tejeda	Vice-Decano
Dra.	Sofia Khouri Zouain	Directora Oficina Planificacion y Educacion
Dr.	Mauro Canario	Coordinador, Docencia y Postgrado, Medicina
Dr.	Rafael Montero	Director Depto. Salud Pública
Dr.	Candida G.	Coordinacion Maestria, Salud Pública

在ドミニカ共和国日本大使館 (EMBAJADA DEL JAPON)

赤沢正人 大使 (基本設計概要説明調査時)  
中村實宏 大使 (基本設計調査時)  
並木芳治 参事官  
加藤なおみ 書記官

JICA ドミニカ共和国事務所 (AGENCIA DE COOPERACION INTELNACIONAL DEL JAPON)

青山 豪 所長  
西田義弘 次長  
福西賢治 所員  
高橋政行 所員  
羽田由紀子 所員  
Srta. America Minerva Duran Asistente



4. 当該国の社会・経済事情

国名	ドミニカ共和国 Dominican Republic
----	-------------------------------

1998.03 1/2

一般指標				
政体	共和制	*1	首都	サント・ドミンゴ *1
元首	President Joaquin BALAGUER	*1	主要都市名	サント・ドミンゴ、サンペドロ、サンティアゴ *1
独立年月日	1844年2月27日	*1	経済活動可人口	3,000千人 (1995年) *4
人種(部族)構成	混血73%、白人系16%、黒人系11%	*1	義務教育年数	9年間 (1997年) *5
			初等教育就学率	81.0% (1994年) *5
言語・公用語	スペイン語	*1	初等教育終了率	% (年) *6
宗教	ローマカトリック95%	*1	識字率	81.5% (1994年) *7
国連加盟	1945年10月	*2	人口密度	167.19人/Km <sup>2</sup> (1996年) *1
世銀加盟	1961年09月	*3	人口増加率	1.7% (1996年) *1
IMF加盟	1953年08月	*3	平均寿命	平均69.06 男66.89 女71.34 *1
面積	48.73千Km <sup>2</sup>	*1	5歳児未満死亡率	44/1000 (1995年) *7
人口	8,088,881千人(1996年)	*1	カロリー供給量	2,310.0 cal/日/人(1990年) *7

経済指標				
通貨単位	ペソ	*1	貿易量	(1996年) *8
為替(1US\$)	1US\$= 14.37 (1997年12月)	*8	輸入	815.0百万ドル *8
会計年度	1月~12月	*1	輸出	3,686.0百万ドル *8
国家予算	(1996年)	*9	輸入カバー率	1.3月 (1995年) *10
歳入	1,954.4百万ドル	*9	主要輸出品目	ココア、砂糖、金、コーヒー、ココア (1995年) *1
歳出	1,930.5百万ドル	*9	主要輸入品目	食品、石油、綿、繊維、薬品 (1995年) *1
国際収支	126.80百万ドル(1995年)	*9	日本への輸出	37.7百万ドル(1996年) *11
ODA受取額	124.00百万ドル(1995年)	*7	日本からの輸入	137.0百万ドル(1996年) *11
国内総生産(GDP)	11,277.00百万ドル(1995年)	*4		
一人当たりGNP	1,460.0百万ドル(1995年)	*4	外貨準備総額	391.0百万ドル(1997年12月) *8
GDP産業別構成	農業 15.0% (1995年)	*4	対外債務残高	428.0百万ドル(1995年) *10
	鉱工業 22.0% (1995年)		対外債務返済率	12.9% (1995年) *10
	サービス業 64.0% (1995年)		インフレ率	4.2% (1993年) *7
産業別雇用	農業 25.0% (1990年)	*7		
	鉱工業 29.0% (1990年)			
	サービス業 46.0% (1990年)		国家開発計画	*12
経済成長率	3.9% (1995年)	*4		

気象(1961~1990年平均)		場所: Santo Domingo											(標高 17 m)
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均 / 計
最高気温	29.0	29.0	29.0	29.0	30.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	30.0	29.0	30.0℃ *13
最低気温	19.0	19.0	19.0	21.0	22.0	22.0	22.0	23.0	22.0	22.0	21.0	19.0	20.9℃ *13
平均気温	24.5	24.5	25.0	25.8	26.3	26.9	27.1	27.1	27.1	26.6	26.0	25.1	26.0℃ *14
降水量	61	36	48	99	473	158	163	160	185	152	122	61	1,718 mm *13
雨期乾期					雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		

\*1 CIA World Fact Book 1997-1998

\*2 States Members of United Nations

\*3 International Financial Statistics Yearbook 1996

\*4 World Development Report 1997

\*5 UNESCO Statistical Yearbook 1997

\*6 Status and Trends 1997

\*7 Human Development Report 1997

\*8 International Financial Statistics February 1998

\*9 International Financial Statistics Yearbook 1997

\*10 Global Development Finance 1997

\*11 世界の国一覧表 1997年版

\*12 最新世界各国要覧 97年版

\*13 The Times Book World Weather Guide, Update Edition

\*14 理科年表, 国立天文台(1997)

国名	ドミニカ共和国
	Dominican Republic

1998.03 2/2

\*15

我が国におけるODAの実績					
項目	年度	1992	1993	1994	1995
技術協力		2,699.97	2,892.93	3,087.67	2,796.65
無償資金協力		2,194.95	2,244.22	2,456.48	3,256.28
有償資金協力		5,852.05	3,939.97	4,352.21	3,878.11
総額		10,746.97	9,077.12	9,896.36	9,931.04

\*15

当該国に対する我が国ODAの実績					
項目	年度	1992	1993	1994	1995
技術協力		8.09	9.61	11.10	12.95
無償資金協力		8.21	11.64	5.97	15.31
有償資金協力		0.31	-5.62	-6.64	28.35
総額		16.61	15.63	10.43	56.61

\*16

OECD諸国の経済協力実績					(支出純額、単位：百万ドル)
	贈与 (1)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び 民間資金 (4)	経済協力総額 (3)+(4)
二国間援助 (主要供与国)	72.20	9.00	81.20		81.20
1. 日本	28.30	28.30	56.60		56.60
2. イギリス	0.00	11.40	11.40		11.40
3. ドイツ	10.00	-2.10	7.90		7.90
4. スペイン	5.50	2.20	7.70		7.70
多国間援助 (主要援助機関)	26.50	15.90	42.40		42.40
1. CEC					
2. IDB					
その他					
合計	98.70	24.90	123.60		123.60

\*17

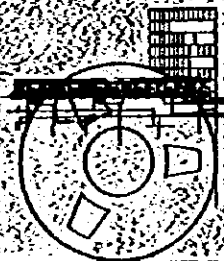
援助受入れ窓口機関	
技術	関係各省庁→大統領府技術庁→外務省
無償	
協力隊	

\*15 Japan's ODA Annual Report 1996  
 \*16 Geographical Distribution of Financial Flows to Aid Recipients 1991-1995  
 \*17 国別協力情報(JICA)

5. その他のデータ

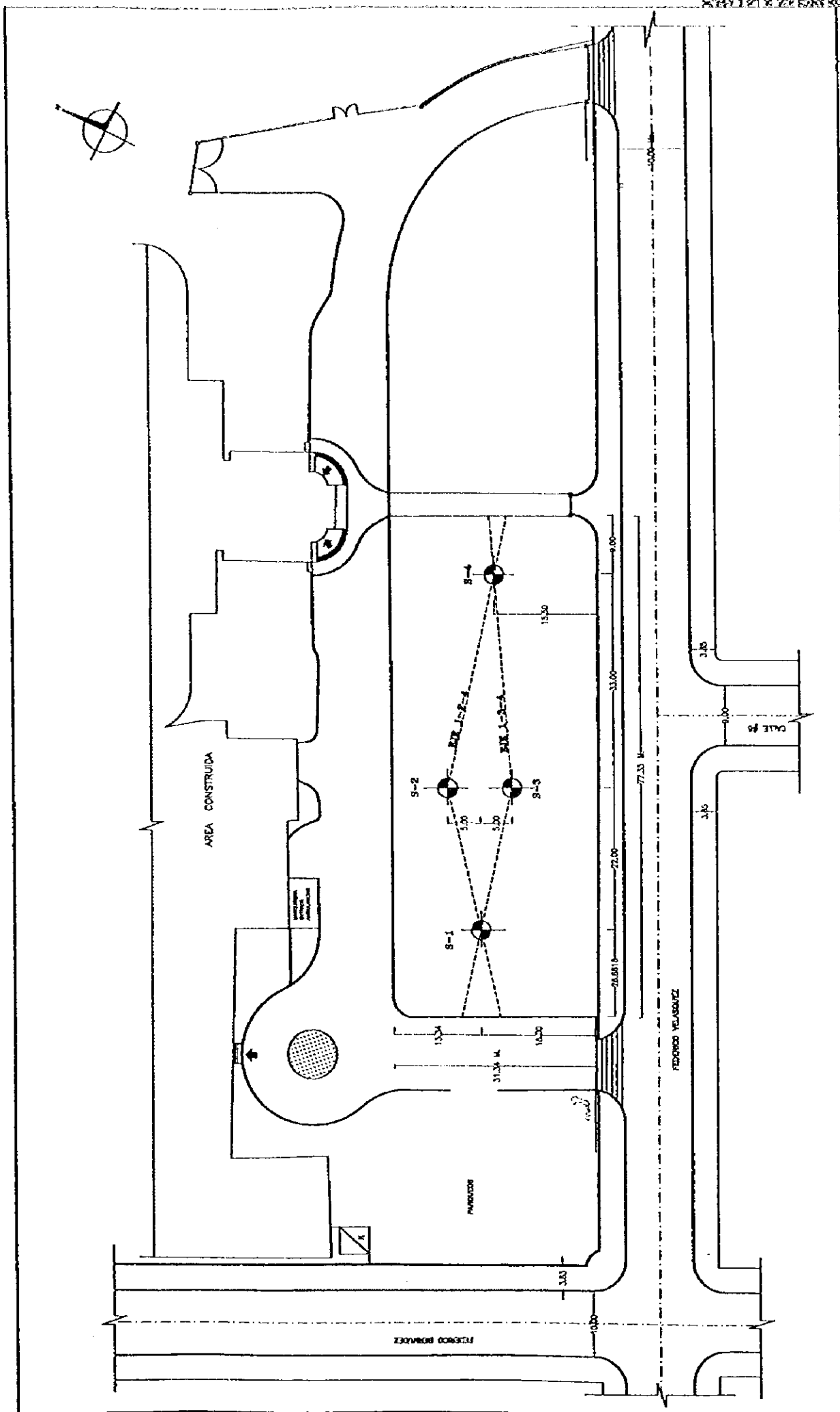
① 地質調査


**INFORME FINAL  
ESTUDIOS MECANICA DE SUELOS  
PROYECTO CENTRO DE  
ENTRENAMIENTO MEDICO,  
HOSPITAL DR. LUIS E. AYBAR**



**Ingenieros Consultores, S. A.**

EDIFICIO APTO. 205 • CALLE MANUEL DE JS. TRONCOSO NO. 3 • ENSANCHE PIANTINI  
TELEFONOS: 566-7811—565-7559 • SANTO DOMINGO, D. N.



	PROYECTO POR: <b>INGENIEROS CONSULTORES, S. A.</b> <small>Calle Bolívar de A. Pinar del Río, No. 100, Pinar del Río, Cuba</small>	PROYECTO POR: <b>YAMASHITA SENGOKI, INC.</b>	PROYECTO POR: <b>CENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO HOSPITAL DR. LUIS E. AYBAR</b>	TITULO: <b>PLANTA LOCALIZACION SONDEOS</b>	ESCALA: 1:100	FECHA: 1987	FIGURA: 1
	PROYECTO POR: <b>INGENIEROS CONSULTORES, S. A.</b> <small>Calle Bolívar de A. Pinar del Río, No. 100, Pinar del Río, Cuba</small>	PROYECTO POR: <b>YAMASHITA SENGOKI, INC.</b>	PROYECTO POR: <b>CENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO HOSPITAL DR. LUIS E. AYBAR</b>	TITULO: <b>PLANTA LOCALIZACION SONDEOS</b>	ESCALA: 1:100	FECHA: 1987	FIGURA: 1

HOJA DE DATOS COLUMNA ESTRATIGRAFICA

PROYECTO : CENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO  
HOSPITAL DR. LUIS E. AYBAR, STO. JOSE, D. N.

SM- 01

PROF. (MTS.)	N. F.	N	W (%)	L. L. (%)	I. P. (%)	% QUE PASA MALLA			CLASIF. SUCS	EXPANS. LIBRE (%)	S <sub>s</sub>	γ <sub>sat.</sub> (T/m <sup>3</sup> )	φ°	q <sub>u</sub> (Kg/cm <sup>2</sup> )	PROF. ESTRATO (MTS.)	PERFIL	DESCRIPCION
						3"	#4	#8									
0.45		12	19	41	13	100	64	60	40	GM	0	2.67	2.00	30-35	2.05		SUELO GRUESO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO GRAVA LAMOSA DE CONSOLIDACION MEDIA - CALICHE -
0.90		20	30	53	21	100	100	100	96	90	50	2.74	-	2.5	2.35		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA INORGANICA DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADA Y EXPANSIVA
1.35		25	29	51	21	100	100	100	98	94	40		-	2.20	3.50		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO UNO INORGANICO DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADO Y EXPANSIVO
1.80		17															
2.25		37	29	50	20	100	99	98	96	91	40	2.70	-	3.60	2.70		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO UNO INORGANICO DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADO Y EXPANSIVO
2.70		40															
3.15		24	36	66	31	100	80	77	89	86	50	2.75	-	3.50	3.15		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADA Y DURA.
3.60		32															
4.05		30	25	41	14	100	78	73	65	61	55	-	-	2.00	4.05		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADA EXPANSIVA
4.50		53	38	76	40	100	78	73	67	65	90	-	-	2.10	4.50		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADA EXPANSIVA
4.80		89	12	51	27	100	38	36	33	31	GC	-	-	2.10	4.80		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADA EXPANSIVA
		ROTACION	-	37	8	100	52	49	46	43	GM	2.69	-	3.80	5.50		GRAVA ARCILLO-LAMOSA COMPACTA
		ROTACION	-	71	41	100	53	53	51	50	GC	-	-	3.80	6.00		CARAS DE SUELO RESIDUAL RESULTANTE DE LA DESCOMPOSICION DE LA ROCA CALIZA ARRECIPIAL
		ROTACION	-	68	33	100	86	84	78	76	MH	2.72	-	3.80	7.45		UNO DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADO Y EXPANSIVO
7.45		76	11	33	15	100	67	59	45	38	GC	-	-	2.10	5.90		GRAVA ARCILLO-LAMOSA COMPACTA
		ROTACION	-	NP	-	100	4	4	3	2	GP	-	-	2.10	8.00		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD
8.45		29	37	74	42	100	100	100	99	98	CH	70	-	-			
8.90		29	36	64	33	100	100	100	99	98	CH	-	-	-			
9.35		29	36	68	33	100	100	100	98	97	CH	60	-	3.00			
9.80		25															
10.25		30	38	66	33	100	100	100	98	95	CH	70	-	-			
10.70		31												10.70			

S-1 HOSPIDAL DR. L. AYBAR D.N.

HOJA DE DATOS COLUMNA ESTRATIGRAFICA

PROYECTO : CENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO  
HOSPITAL DR. LUIS E. AYBAR, STO. DGO., D. N.

PROF. (Mts.)	N	W (%)	L. L. (%)	I. P. (%)	% QUE PASA MALLA				CLASIF. SUCS	EXPANS. LIBRE (%)	S <sub>s</sub>	γ <sub>sat.</sub> (T/M <sup>3</sup> )	φ°	q <sub>u</sub> (Kg/cm <sup>2</sup> )	PROF. ESTRATO (Mts.)	PERFIL	DESCRIPCION
					3"	#4	#8	#40									
0.90	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.45		RELLENO - SUELO FINO ORGANICO	
1.35	47	11	42	25	72	66	54	45	GC	20	2.67	2.10	34	1.35		SUELO GRUESO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO GRAVA ARCILLOSA COMPACTA - CALICHE -	
1.80	45	9	22	27	56	51	44	38	GC	-	-	-	-	1.80		- CALICHE -	
2.90	85	-	-	-	-	-	-	-	ROCA	-	2.65	2.20	-	3.20		ROCA CALIZA POROSA - CALICHE -	
2.90	ROTACION	-	-	-	-	-	-	-	ROCA	-	2.64	2.20	-	3.20		ROCA CALIZA POROSA - CALICHE -	
4.40	76	35	41	14	92	88	81	73	ML	50	-	2.20	3.00	2.90		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO LIMO INORGANICO	
4.95	ROTACION	-	-	-	-	-	-	-	ROCA	-	2.64	2.20	-	3.20		ROCA CALIZA POROSA - CALICHE -	
4.95	ROTACION	40	43	20	64	63	57	50	GC	60	-	2.20	3.00	4.40		SUELO GRUESO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO GRAVA ARCILLOSA - CALICHE -	
5.90	31	19	43	6	90	90	89	84	ML	-	-	2.20	-	4.85		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO LIMO INORGANICO	
5.90	ROTACION	-	-	-	-	-	-	-	ROCA	-	2.66	-	-	3.20		ROCA CALIZA POROSA - CALICHE -	
6.25	ROTACION	-	-	-	-	-	-	-	ROCA	-	-	-	-	5.75		SUELO GRUESO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARENA ARCILLOSA	
6.70	32	22	36	21	83	80	68	50	SC	40	-	2.10	3.4	6.70		SUELO GRUESO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE BAJA COMPRESIBILIDAD	
7.15	28	31	42	17	100	100	97	81	CL	40	2.74	2.10	-	7.50		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO LIMO INORGANICO DE BAJA COMPRESIBILIDAD	
7.60	25	38	49	20	100	100	97	94	ML	85	2.72	2.10	-	8.50		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD	
8.05	24	38	55	28	100	100	97	89	CH	60	2.78	2.00	-	9.50		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD	
8.50	22	38	51	22	100	98	94	88	CH	60	-	-	-	10.30		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD	
8.95	33	38	51	22	100	98	94	88	CH	60	-	-	-	10.30		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD	
9.40	34	39	51	22	100	98	94	88	CH	60	-	-	-	10.30		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD	
9.85	30	39	51	22	100	98	94	88	CH	60	-	-	-	10.30		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD	
10.30	30	39	51	22	100	98	94	88	CH	60	-	-	-	10.30		SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD	

HOJA DE DATOS COLUMNA ESTRATIGRAFICA

PROYECTO : CENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO  
HOSPITAL DR. LUIS E. AYBAR, STO. DGO., D. N.

SM- 03

PROF. (MTS.)	N. F.	N	W (%)	L. L (%)	L. P. (%)	% QUE PASA MALLA				CLASIF. SUGS	EXPAN. LIBRE (%)	S <sub>s</sub>	γ <sub>sat.</sub> (1/m <sup>3</sup> )	φ°	q <sub>u</sub> (Kg/Cm <sup>2</sup> )	PROF. ESTRATO (MTS.)	PERFIL	DESCRIPCION
						3"	#4	#8	#40									
0.45		10	28	47	14	100	95	98	93	83	ML	50	2.70	-	1.00	0.65		SUELO FINO RESIDUAL, ORIGEN CALCAREO LIMO INORGANICO DE BAJA COMPRESIBILIDAD
0.90		9	32	56	28	100	81	78	74	72	CH	50	2.73	-	1.00	1.35		SUELO FINO RESIDUAL, ORIGEN CALCAREO ARCILLA INORGANICA ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADO, EXPANSIVO
1.35		25																
1.80		35	28	35	17	100	60	53	43	37	GC	30	2.68	-	-	3.00		SUELO GRUESO RESIDUAL ORIGEN CALCAREO GRAVA ARCILLOSA MUY COMPACTA
2.25		51																
2.70		50	24	35	19	100	58	52	41	37	GC	-						
3.00		60																
5.70		ROTON																
		84	16	31	9	100	64	59	46	38	GC	-	2.65	-	-			ROCA CALIZA ARRECIFFAL PARCIALMENTE DESCOMPUESTA
7.70		ROTON																
		24	30	58	31	100	100	100	95	93	CH	50				7.70		SUELO FINO RESIDUAL, ORIGEN CALCAREO ARCILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADA, DURA Y EXPANSIVA
8.15		24																
8.60		25	35	56	30	100	99	99	95	91	CH	60	2.76	-	3.00			
9.05		26	34	65	37	100	100	100	97	89	CH	70						
9.50		47																
9.95		47																
10.10		47																

S-3 Hospital Dr. L. Aybar

HOJA DE DATOS COLUMNA ESTRATIGRAFICA

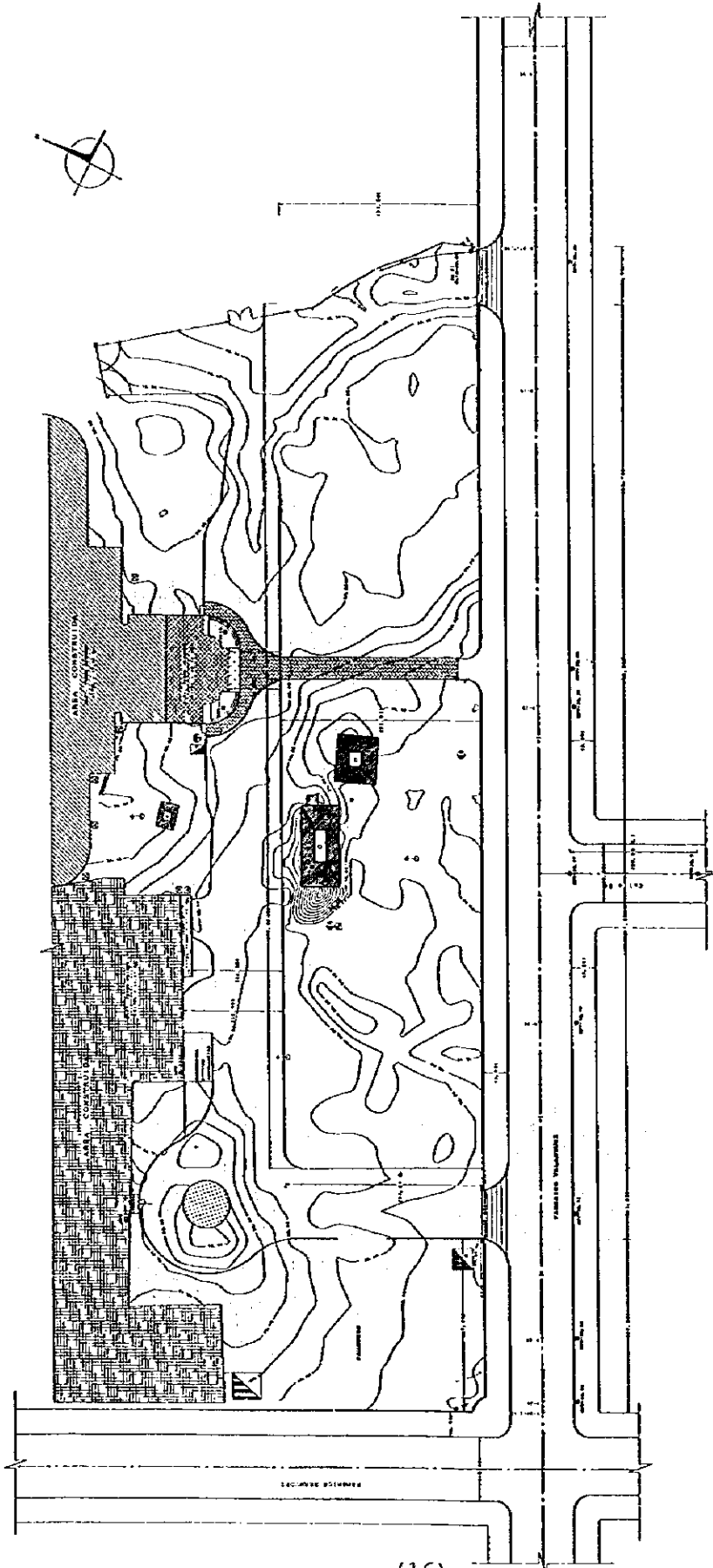
PROYECTO : CENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO  
HOSPITAL DR. LUIS E. AYBAR, STO. DGO., D. N.

SM-04  
E -

PROF. (MTS.)	N. F.	N	W (%)	L. L. (%)	I. P. (%)	% QUE PASA MALLA				CLASIF. SUCS	EXPANS. LIBRE (%)	S <sub>s</sub>	γ <sub>Net.</sub> (T/M <sup>3</sup> )	Φ°	Q <sub>u</sub> (Kg/Cm <sup>2</sup> )	PROF. ESTRATO (MTS.)	PERFIL	DESCRIPCION	
						3"	#4	#8	#40										#200
0.45		11	26	34	5	100	93	88	67	47	SM	25	2.00	34	-			SUELO GRUESO RESIDUAL ORIGEN CALCARCO ARENA LIMOSA - CAUCHE -	
0.90		27	18	22	3	100	88	84	63	40	SM	20	2.00	-	-				
1.35		12																	
1.80		19	12	20	3	100	86	60	43	28	SM	20	2.00	34	-				
2.25		29													2.25				
2.70		36	15	19	3	100	76	72	62	51	ML	20	2.10	-	3.80			SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCARCO LIMO INORGANICO DE BAJA COMPRESIBILIDAD	
3.30		33													3.30				
		72																	
		R O Y A C I O N																	ROCA CALIZA ARRECFIAL MUY POROSA
8.50		36	19	53	23	100	65	59	45	33	GM	45	2.00	34	-	8.50		SUELO GRUESO RESIDUAL ORIGEN CALCARCO GRAVA LIMOSA COMPACTA - CAUCHE -	
9.40		34	31	58	26	100	100	100	99	74	CH	40	2.00	-	9.40			SUELO FINO RESIDUAL ORIGEN CALCARCO ARGILLA DE ALTA COMPRESIBILIDAD PRECONSOLIDADA DURA	
9.85		30																	
10.30		33													10.30				



② 敷地測量



SIMBOLOGIA

	Limite
	Road
	Concrete Structure
	Wall
	Water Body
	Spot Elevation
	Spot Elevation
	Spot Elevation
	Spot Elevation
	Spot Elevation
	Spot Elevation
	Spot Elevation
	Spot Elevation
	Spot Elevation

UNIVERSIDAD NACIONAL AUTÓNOMA DE MEXICO  
 INSTITUTO TECNOLÓGICO Y DE INVESTIGACIONES EN INGENIERIA Y ARQUITECTURA  
 YAMASHITA REKKEI, INCENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO, HOSPITAL DR. LUIS EUDARDO AYBAL CURVAS DE NIVEL, ESPACIAMIENTO 0.10  
 YAMASHITA REKKEI, INCENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO, HOSPITAL DR. LUIS EUDARDO AYBAL CURVAS DE NIVEL, ESPACIAMIENTO 0.10  
 YAMASHITA REKKEI, INCENTRO DE ENTRENAMIENTO MEDICO, HOSPITAL DR. LUIS EUDARDO AYBAL CURVAS DE NIVEL, ESPACIAMIENTO 0.10



③ 既存井戸水質検査結果

20 de Diciembre

Señores  
MISION JAPONESA  
Ciudad.-

Atn. Sr. Masuzawa

Aanilisis realizado:

Fisico, Quimico, Microbiologico.

Turbiedad: 1	Hierro: 0.02 MG/l
Dureza: 0.69 MG/L	Cobre: 0.02 MG/L
TDS: 156 MG/L	Dureza de magnesio: 3.3 MG/L
CND: 312 MG/L	Dureza de Calcio: 0.02 MG/L
ph: 7.26	Nitratos: 10.1 MG/L
Cloruros: 30 MG/L	Nitrito: 0.005 MG/L
	Sulfato: 14.0 MG/L

CONTROL MICROBIOLOGICO

Conteo Total: 0  
Coliforme: 0  
Pseudomona: 0

*Maritza Caraballo Giron*  
Lic. Maritza Caraballo G.

*Yoshinichi Yokota*  
Ing. Yoshinichi Yokota  
Gerente de Planta.

## 6. 収集資料リスト

	名称	発行者
1.	LA SITUACION DE SALUD DE REPUBLICA DOMINICANA 1996	Secretaría de Estado de Salud Pública y Asistencia Social ; Organización Panamericana de la Salud
2.	INFORME DE EJECUCION PRESUPUESTARIA AÑO 1996	SECRETARIADO TECNICO DE LA PRESIDENCIA OFICINA NACIONAL DE PRESUPUESTO
3.	MEMORIA ANNUAL 1996	Secretaría de Estado de Salud Pública y Asistencia Social
4.	DESARROLLO DE RECURSOS HUMANOS EN SALUD : LA EXPERIENCIA DOMINICANA	Facultad Latinoamericana de ciencias sociales ; Organización Panamericana de la Salud ; Organización Mundial de la Salud ; Programa de Adiestramiento en Salud de Centroamérica y Panamá
5.	世界子供白書 1997 THE STATE OF THE WORLD'S CHILDREN 1997	UNICEF
6.	Salud :Visión de Futuro ; Elementus para un acuerdo nacional	Comisión National de Salud ; Oficina de Coordinación Técnica
7.	ESU-96 Utilización de Servicios de Salud y Satisfacción de los Usuarios	Secretaría de Estado de Salud Pública y Asistencia Social







JICA